

ほっと

とNEWS

VOL.23



2010.2月発行 発行人/医療法人社団和恒会
 浜市広白石4丁目7番22号 TEL.(0823)70-0655

『広ほっとタウン』

医療法人社団 和恒会

理事長 森川 龍一

「広の街をみんながほっとする街に」を和恒会理念として、平成9年現在の地に、ふたば病院と老健施設バナケイアを建設しました。以来ふたば病院を核として、さまざまな施設を作ってきました。昨年にはふたば病院と道路ひとつ離れた場所に、高齢者複合福祉施設「ふたばの街」を新たにオープンしました。

老人専用のマンションとして高齢者専用賃貸住宅が各地でほぼつ建設されています。高齢者の方は、医療・看護・介護の必要な方が大半で、「広ほっとタウン構想」の一環として和恒会の各事業所と連携しながら運営する事を基本に考えました。そのため、介護機能を持たせ、かつ認知症や身体障害を持つ人のデイサービス、訪問介護、小規模多機能施設（新しい組

ごあいさつ

織）、グループホームなど高齢者の介護を重視した複合型の施設を作りしました。全国でもめずらしく、広島平和記念公園のフエニックスホールで、国、県、市町村その他高齢者施設に関心がある方などが集まった中で、私共の施設の説明会を開催し、翌日には多数の方が「ふたばの街」を現地視察されました。

開設して一年、予想通り、医療・看護・介護の必要な方が多数で、「ふたば病院」「バナケイア」を中心として、高齢者の方の状況に応じて、連携して運営しております。

私共の和恒会は、回復して家庭に帰られる事を目標に、医療を中心にリハビリテーションにも積極的に力を入れていきます。

しかし、不幸にも回復せず帰宅できない人にも、病院、施設を「たらい回し」にする事なく、看取りまで看護しています。

ふたばの医師・看護師・介護士や多くの職種の人が、呉の総合病院、地域の施設や医院、行

政、地域の自治会、老人会の方々と連携して広の街を「ほっと」する街にとの理念で、「広ほっとタウン」構想を目指して日々努力しています。

地域の連携の一例として、各施設に地域の人を招き、情報開示を行ったり、ボランティアの方の来院、夏祭りを始めとするイベント、著名な先生を招いての講演会などを行っています。また多くの学生が病院、施設に実習に来て学んでいます。

今後は認知症対策の他、自殺者が毎年3万人を超えるという異常な時代に「こころのケア」や専門的な治療を行っていく必要があり、より良い病院・施設造りを行っていきたく、全職員が念願しております。





杉 胖 先生 瑞寶雙光章受章祝賀会

平成21年12月9日に呉阪急ホテルで、和恒会医師杉胖先生の瑞寶雙光章受章祝賀会を行いました。瑞寶雙光章とは国家または公共に対し功労があり、公務等に長年従事し、成績を挙げた方を授与対象とする瑞宝章のひとつで、この度、杉先生は広島県警嘱託医として勲章を受章されました。

杉先生は昭和54年頃から産業医として職員の健康管理や留置の健康管理、検死、その他諸々の医学的相談を受けてこれ、昭和57年に広島県警本部長から表彰、平成6年と平成19年に警察庁長官の協力賞で勲章を受章されました。

国立病院機構呉医療センターに9年間外科で勤務し、その後開業、平成16年にふたば病院医師として現在まで多くの患者様と関わってこれています。

授賞式には杉先生が受章された賞状と勲章が飾られ、出席者の目を引いていました。

杉 先生 コメント

この度、警察庁の推薦で叙勲の栄誉に浴しました。30年余、昼夜を問わず数多くの検死業務をしてきた事の様です。

通知がくると天皇の拝謁があるし、服装が細かく規定されています。宿泊も礼服の予定もなく困りましたが、警察庁からホテルに貸衣装があると通知があり、早速、伝達式のあるホテルに電話すると、身長、体重、首周り、肩幅、袖丈、股下と細かく聞いて、ハイ用意してお

きますと簡単でした。毎年の行事で、チビ、のっぽ、瘦せ…どんな体型でも用意してあるようでした。

当日は朝8時半に服装を整え、9時から説明会、リハーサルと本番の伝達式、午後はバスで皇居に行き、春秋の閣と言う190坪の大きな部屋で天皇の拝謁とお言葉を戴きました。受章者数は全国で4千人以上あり、陛下もお疲れと思います。こちらも礼服のまま7時間を過ぎ大変疲れた一日でした。

当院の地域連携室を紹介させていただきます。

精神保健福祉士
浜田 謙敬

- ① 受診援助…電話などで随時相談を受け付けております。まだまだ近寄り難い感じのする精神科病院。不安を抱えながら電話をかけて来られる方の緊張を少しでも和らげられるよう対応を心がけております。また、他院からの紹介も地域連携室で対応させていただきます。
- ② 入院援助…ご病気のため入院が必要と医師が判断された場合、入院の為の準備物や入院費、その他活用できる福祉制度についてご案内させていただきます安心して入院していただけるよう援助させていただきます。
- ③ 退院援助…退院後の生活について相談を受け付けております。具体的には「認知症で今後は自宅で介護ができないのでどうすれば良いか」「統合失調症の子供の将来が不安」等様々です。答えは一緒ではないのでその方にあった退院といふのを考えなければいけません。患者さんやご家族の立場に立ち共に考え援助させていただければと努力しております。
我々精神保健福祉士を見かけたらどんなことでもかまいません。挨拶だけでも、冗談だけでも、世間話だけでも、スーツや事務服をきて少し堅苦しい感じもしますが気軽に声をかけてやって下さい。

広島文化学園大学看護学部による演奏会

平成21年12月12日(出)13時30分より、老健3階ホールで広島文化学園大学看護学部による演奏会が行われました。



1年生から4年生まで15名の学生によるポランテアで、クリスマスソングから皆さんなじみの水戸黄門、銭形平次メロデー、ディズニィ(アラジントーマソング)まで約20分演奏してくださいました。

最後はアンコールでふるさとをみんなで合唱して終了しました。

老健3階ホールには、ポランテア、老健2・3階、またご家族の方も加わり80名程の人でいっぱいになり、楽しいひと時を過ごしました。中には実習に来た学生も居り、実習とは違う顔で頑張っていました。

広島文化学園大学は5月にもポランテアで演奏会を行ってくださり、今回が2度目の演奏会でしたが演奏した学生自身が楽しかったと感想を述べてくださいました。看護実習や勉強の合間で、充分な練習もできなかつたという状況でしたが一生懸命演奏してくださいました。

冬場は感染が発生したり、ポランテアが行えない施設も多いですが無事終了する事ができました。

老健 看護総師長 酒井 敏枝



生姜で冷え取りポカポカ生活!!

明けましておめでとうございます。寒さが一段と厳しくなり、冷えに悩む方も多い昨今、抜群の効果が実感できるお助け食材、生姜。その最大の魅力は食べてすぐに暖かくなるのを実感できる事です。このポカポカ効果を最大に引き出してくれるのが生姜成分「ショウガオール」です。更に食生活に取り入れるルールとして

(1)生姜は加熱する
(加熱することにより、ショウガオールが増える)

(2)3時間おきに摂る

(3)一日20gまで
(過剰摂取は胃腸に負担がかかる)

(過剰摂取は胃腸に負担がかかる)の3点あります。この3つのルールで冷えをしつかり予防しましょう!!

・次に簡単レシピ(常備菜)です。

(1)かりかり生姜ジャコカラダふりかけに
鍋にゴマ油大2入れ、千切りにした生姜100gをカリッとすき炒め、梅ジャコ10gを加えて更に炒める。

(2)生姜醤油(吸い物・おにぎりに)
千切り生姜50gをラップし、レンジで一分加熱、梅干し2個を叩き、果肉と種に分ける。生姜、梅肉、種と共に醤油100ccと合わせる。

(3)生姜蜂蜜(湯割りで)
千切り生姜50gをレンジで一分加熱し、唐辛子少々と共に蜂蜜100ccに漬ける。(生姜は全て皮付きです)

管理栄養士 佐々木由美子

編集後記

昨年は歴史的な政権交代をはじめ、新型インフルエンザの流行や裁判員制度のスタートなど重大ニュースが世間を騒がせました。

一年慌ただしくあつたという間に過ぎ去つたように感じましたが、2010年ももう少しゆとりを持って穏やかに過ごせるような年にしたいものです。

これからも、皆様のご協力のもと、本誌発行に向け力を入れていきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

(編集者一同)

医療法人社団前会の仲間たち

ふたば病院
介護老人保健施設 パナケイア
居宅介護支援事業所ふたば
訪問介護事業所ふたば
認知症対応型共同生活介護ふたばの家
生活訓練施設 ふたばの丘
地域活動支援センター ふたば
重度認知症患者デイケア ふたばの森
短期入所生活介護事業所 ふたばの緑
高齢者複合福祉施設 ふたばの街

ふたば病院

